

平成30年度 第1回加古川市総合教育会議

いじめ防止対策改善基本5か年計画に基づく
命を大切にする教育の推進について

平成30年11月15日

加古川市立青少年女性センター 大会議室

青少年育成課

I 5か年計画策定の背景

- 平成28年 9月

いじめに関わる重大事態が発生

- 平成28年11月

加古川市いじめ問題対策委員会（第三者委員会）
を設置

- 平成29年12月

市長へ調査結果の報告

● 調査報告書で課題とされた事項（趣旨）

- ・ アセスの結果の読み取り、アンケート用紙の確認
- ・ 法で定められたいじめの定義に対する認識と対応
- ・ SOSのサインに気づけなかった教職員の危機管理意識
- ・ 教職員間での情報伝達方法と情報共有
- ・ 「いじめ防止・対応マニュアル」に沿った組織的な対応

二度と子どもたちの尊い命が奪われる
ことがあってはならない

● 平成30年 2月

- ・ 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画
- ・ いじめ防止対策改善プログラム

いのちを大切にする教育の推進

— いじめの定義 —

児童生徒に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係がある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

「いじめ防止対策推進法 第一章 総則 第二条」

— いじめの基本認識 —

- どの子どもにもどの学校でも起こりうる
- 人権侵害である
- 大人は気づきにくく、発見しにくい
- 多くの児童生徒が、加害も被害も経験する
- 暴力を伴わないいじめであっても、繰り返されたり、集中的に行われたりすることにより、生命、身体に重大な危険が生じる
- その様態により、刑罰法規に抵触する
- 加害・被害の二者関係だけでなく、観衆、傍観者も存在
傍観者から、仲裁者・相談者への転換が重要

Ⅱ 5 年計画の基本構想

資料 1・2

● 基本目標

いじめ等の命に関わる問題の未然防止に資する取組を強力に支援するとともに、子どもの居場所づくり・絆づくりを進め、自己有用感を高める教育活動への支援を行う。

● 行動目標

いじめ問題等の

- 1 未然防止
- 2 早期発見・早期対応
- 3 関係機関との連携
- 4 推進体制・検証体制 の充実

Ⅲ 5か年計画 今年度の取組

1 未然防止

- 子どものSOS発見啓発チラシ
- いじめ防止市民フォーラム（いじめ防止啓発月間の設置）

2 早期発見・早期対応

- 子どものSOS発見チェックリスト
- 学校環境適応感尺度「アセス」の活用
- 教育相談体制の促進

3 関係機関との連携

- スクールサポートチームの設置
- スクールソーシャルワーカーとの連携

4 推進体制・検証体制①

- 加古川市いじめ防止基本方針の改定
- 加古川市いじめ防止・対応マニュアルの改定
- 改善プログラム取組状況の点検
- 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の設置

4 推進体制・検証体制②

資料3

● 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会

委員会は、5か年計画及び改善プログラムに基づき教育委員会が実施するいじめ防止対策の評価検証を行い、その結果を踏まえて教育委員会に必要な助言を行う。

(加古川市いじめ防止対策評価検証委員会規則より)

【評価検証委員会組織】

分野	氏名	所属等
学校経営	浅野 良一	兵庫教育大学大学院教授
学校事故・危機対応	住友 剛	京都精華大学教授
法律	曾我 智史	尼崎駅前法律事務所弁護士
生徒指導	菱田 準子	立命館大学大学院教授
心理	吉田 圭吾	神戸大学大学院教授

改善プログラムによる各学校の取組

- ・「わかる授業づくり」「絆づくり」
- ・「いじめ追放活動」「いじめ防止啓発集会」
- ・保護者向けいじめ啓発活動
- ・情報モラル講演会
- ・交流給食、交流読書
- ・SST、ピア・サポート活動
- ・学校独自のチェックシート、積極的ないじめ認知

IV 5か年の取組

資料 1

	未然防止	早期発見・早期対応	関係機関との連携	推進体制・検証体制
2018年度 取組点	<ul style="list-style-type: none"> ○ アセス推進体制及び教育相談体制の充実を支援 ○ 「いじめ防止基本方針」「いじめ防止・対応マニュアル」の改定 ○ いじめ問題について子どもが主体的に考え解決しようとする取組を推進 ○ スクールサポートチームの設置 ○ 改善プログラム取組状況の点検及びPDCAサイクルへの指導・助言 ○ いじめ問題等対策有識者による計画策定への助言 ○ いじめ防止啓発月間（9月）の設置 			
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかる授業」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスの活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールサポートチームの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の改善プログラム実施状況報告の取りまとめと改善指導
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「居場所づくり」への取組支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善基本5か年計画の検証と改善
2021年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「絆づくり」を育む実践を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者機関への報告及び是正要請への対応
2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育・人権教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「チーム学校」の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間との連携 	

V 評価検証委員会の開催

● 平成30年度のスケジュール

・ 7月21日 第1回評価検証委員会の開催

- ・ 5か年計画の基本構想の説明
- ・ 今年度の重点取組の説明

・ 9月18日 第2回評価検証委員会の開催

- ・ 5か年計画及び改善プログラムの1学期の取組状況の評価検証

・ 2月20日 第3回評価検証委員会の開催

- ・ 5か年計画及び改善プログラムの2学期の取組状況の評価検証
- ・ 来年度の対策改善案の検討

VI 第1回評価検証委員会の実施

資料1

- 5か年計画の基本構想の説明
- 今年度重点取組の説明
 - ◆ 未然防止
SOSチラシの配付、いじめ防止市民フォーラムの開催
 - ◆ 早期発見・早期対応
アセス、心の相談アンケート、教育相談の実施
 - ◆ 関係機関との連携
スクールサポートチームの設置
 - ◆ 推進体制・検証体制
自己点検シートの実施、評価検証委員会での検証、
基本方針・対応マニュアルの改定
- 各学校のいじめ防止対策の取組状況のヒアリング

委員からの助言・意見

- いじめは起きている前提で、どう見つけ、対応するかに重点を置くべきである。
- 具体的な事例やいじめの定義について、学校や教職員間で共有する機会をつくってほしい。
- 学校ごとの特徴を踏まえて、課題を積極的に抽出してもらいたい。 など

委員長のコメント

- 教育委員会及び学校に対する批判的なパートナーとして、専門的な立場から厳しい指摘を行う。
- いじめ防止対策に関するPDCAサイクルを回して、5年間でよりよい計画へと昇華させる。
- 最終的にはいじめ防止対策から、よりよい学校経営、学級経営の実現を目指す。

VII 第2回評価検証委員会の実施

● 5か年計画の1学期の取組状況

資料4・5

◆ 未然防止への取組

- ① 「心の絆プロジェクト」児童会・生徒会代表者ミーティング（8月17日）
- ② 第1回いじめ防止市民フォーラム（9月1日）
 - ・いじめ防止標語・ポスター
 - ・いじめ防止 基調講演
 - ・児童会・生徒会代表者ミーティングからの報告
- ③ 子どものSOS発見啓発チラシ（家庭訪問時に手渡し）
- ④ 子どものSOS発見チェックリスト（家庭訪問時に手渡し）
- ⑤ いじめ防止啓発チラシ等の配布（9月）

児童会・生徒会代表者ミーティング

「心の絆プロジェクト」児童会・生徒会代表者ミーティング

- 日 時 平成30年8月17日（金）14:00～16:00
- 場 所 加古川市民会館小ホール
- 参加者 各小中学校の児童会・生徒会代表80名
- 内 容
 - ・各校の「いじめを許さない学校づくり」に関する取組紹介
 - ・ユニットで取り組む内容の検討及び具体的な活動、スローガンの検討

いじめ防止市民フォーラム

第1回いじめ防止市民フォーラム

- 日 時 平成30年9月1日（土）14：00～16：00
- 場 所 加古川市民会館大ホール
- 参加者 学校関係者、PTA関係者、学校評議員、民生児童委員、少年補導委員等、約650名
- 内 容
 - ① 表彰
標語の部（教育長賞、奨励賞を受賞した小学生6名を表彰）
ポスターの部（教育長賞、奨励賞を受賞した中学生6名を表彰）
 - ② いじめ防止に向けた加古川市の取組
 - ③ 基調講演
演題：「STOP！いじめ 学校・家庭・地域でスクラム！」
講師：玉聞伸啓氏
「克服体験談」に基づいたいじめの実態及び対応策
 - ④ 児童会・生徒会代表者ミーティングからの報告

◆ 早期発見・早期対応への取組

- ① 多様な研修の実施
(アセスに関する基礎的な研修、教育相談スキル研修、学校生活適応推進研修、自殺予防教育に関する研修、危機管理に関する研修)
- ② 学校環境適応感尺度「アセス」の活用
 - ・ アセス担当教員を設置
 - ・ 「学校生活に関するアンケート」の実施（年間2回）
対象：小学3年生～中学3年生
⇒ 要支援領域の児童生徒への支援
- ③ 教育相談体制の促進
 - ・ 教育相談コーディネーターを設置
 - ・ 「心の相談アンケート」の実施（年間2回）
対象：小学3年生～中学3年生
 - ・ 教育相談週間の実施（年間2回）

■アセスに関する基礎的な研修

日時	テーマ	講師	対象	会場
4月23日(月) 13:30～16:30	アセス全般とマルチレベルアプローチ 研修	広島大学大学院教育学研究科教育実践総合センター 教授 栗原 慎二 氏	校長 アセス推進担当	青少年女性 センター
6月11日(月) 14:00～16:00	アセスの運用と分析に関する研 修	教育相談センター 指導主事	教頭 アセス推進担当	青少年女性 センター
5月17日(木) 14:00～16:00	アセスデータの入力と処理※実 技講習	教育相談センター 指導主事	アセス推進担当 IT担当等	中部中学校 コンピューター室

■学校生活適応推進研修

日時	テーマ	講師	会場
8月23日(木) 9:30～12:30	生徒指導・教育相談総論 ピア・サポート	広島大学教育学研究科 客員准教授 山崎 茜 氏	市民会館
8月23日(木) 13:30～16:30	学級経営とPBIS	同志社大学心理学部 教授 神山 貴弥 氏	市民会館
8月27日(月) 9:15～12:15	SEL	島根県立大学人間文化学部 准教授 山田 洋平 氏	青少年女性 センター
8月27日(月) 13:30～16:30	協同学習	山口大学教育学部 准教授 沖林 洋平 氏	青少年女性 センター
8月29日(水) 9:15～12:15	カウンセリング	神戸親和女子大学大学院文学研究科教授 金山 健一 氏	青少年女性 センター
8月29日(水) 13:30～16:30	チーム支援 -いじめ・不登校を例に-		

学校生活に関するアンケート

心の相談アンケート

No.	質問	回答				
		とてもある	ややある	どちらでもない	ややない	とてもない
1	あいさつは、みんなにしている	5	4	3	2	1
2	担任の先生は、私のことを知っていてくれる	5	4	3	2	1
3	なんとなく気持ちが悪く感じることがある	5	4	3	2	1
4	勉強のやり方がよくわからない	5	4	3	2	1
5	まあまあ、自分に満足している	5	4	3	2	1
6	落ちこんでいる友達がいたら、その人を元気づける自信がある	5	4	3	2	1
7	いやなことがあったとき、友達は黙ってたり顔を下してたりする	5	4	3	2	1
8	仲間に入れてもらえないことがある	5	4	3	2	1
9	楽しい気分で、どのような状況になってもがんばり続ける	5	4	3	2	1
10	担任の先生は、私のことを知っていてくれる	5	4	3	2	1
11	自分は、勉強はまあまあできていると思う	5	4	3	2	1
12	気持ちがすっきりしている	5	4	3	2	1
13	陰口を言われているような気がする	5	4	3	2	1
14	「いいね!」すごいね!とってくれる友達がいる	5	4	3	2	1
15	勉強の量が難しく、とくに大変なところがある	5	4	3	2	1
16	気持ちが楽である	5	4	3	2	1
17	困っている人がいたら、選んで助けようと思う	5	4	3	2	1
18	担任の先生は、信頼できる	5	4	3	2	1
19	友だちからかわられたり、バカにされることがある	5	4	3	2	1
20	悩みを話せる友達がいます	5	4	3	2	1
21	授業がよくわからないことが多い	5	4	3	2	1
22	自分以外の人が好きでいると感じる	5	4	3	2	1
23	友だちにいやなことをされることがある	5	4	3	2	1
24	元気がないと、友だちはよく気づいて、声をかけてくれる	5	4	3	2	1
25	友だちや先生に会ったら、自分からあいさつをしている	5	4	3	2	1
26	担任の先生は、困ったときに助けてくれる	5	4	3	2	1
27	困っている人を助けても、なかなか声をかけられない	5	4	3	2	1
28	友だちから嫉妬されることがある	5	4	3	2	1
29	友だちは、私のことを知っていてくれる	5	4	3	2	1
30	勉強についていけないのではないかと不安になる	5	4	3	2	1
31	生活が楽しくないと感じる	5	4	3	2	1
32	友だちにはなかなか本当の気持ちを伝えられない	5	4	3	2	1
33	相手の気持ちになって考えたり行動する	5	4	3	2	1
34	担任の先生は私の悩みのところを知っていてくれる	5	4	3	2	1

必ず、あけているところが研い、同じ質問に2つの○が研い、もう一つ研かめてください。

記入日 年 月 日

心の相談アンケート

年 組 番

1 自分の気持ちに合う数字に口をつけてください。

① 学校の生活は楽しいですか? ①

とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない
4	3	2	1

② 学校に行きたくない日はありますか? ②

よくある	まあまあある	あまりない	まったくない
4	3	2	1

③ 学校生活(学校以外でもいいです)で友達や話していることはありますか? ③

とてもある	まあまあある	あまりない	まったくない
4	3	2	1

④ 友だちはいますか? ④

たくさんいる	まあまあいる	あまりいない	まったくいない
4	3	2	1

2 あてはまる方にも口をつけてください。

① 自分の持ち物が無くったり、壊れたりしていることはありますか? ①

はい	いいえ
----	-----

② まちがったり、失敗したりすると、友だちに笑われることはありますか? ②

はい	いいえ
----	-----

③ 自分がひどく落ち込むことはありますか? ③

はい	いいえ
----	-----

④ 陰口を言われたり、噂のお話でよめられたりすることはありますか? ④

はい	いいえ
----	-----

⑤ 解読されたり、話ひに騙されておもしろなったりすることはありますか? ⑤

はい	いいえ
----	-----

⑥ 友だちからだめだめと、けなされたりすることはありますか? ⑥

はい	いいえ
----	-----

⑦ 友だちにお金や物を貸したり、あげたりすることはありますか? ⑦

はい	いいえ
----	-----

⑧ 手帳やメモで書くことや日記のやり、自分の気持ちを書き留めたりしていることはありますか? ⑧

はい	いいえ
----	-----

⑨ スマートフォンなどで書くことや書き留められたりしたことはありますか? ⑨

はい	いいえ
----	-----

⑩ 学校でいじめがあったり、見られたりしたことはありますか? ⑩

はい	いいえ
----	-----

3 あてはまる方にも口をつけてください。

① 友だちの悪口を書いたり、噂のお話でよめられたりしたことはありますか? ①

はい	いいえ
----	-----

② 友だちの悪口を話していることはありますか? ②

はい	いいえ
----	-----

③ だれか悪口を話されたら、解読したりすることはありますか? ③

はい	いいえ
----	-----

④ 友だちのお金や物を貸りたまわっていることはありますか? ④

はい	いいえ
----	-----

⑤ 手帳やメモで自分の書くことや日記のやりはありますか? ⑤

はい	いいえ
----	-----

⑥ スマートフォンなどで書くことや書き留められたりしたことはありますか? ⑥

はい	いいえ
----	-----

◆ 関係機関との連携を強化した取組

① スクールサポートチームの設置

メンバー	分野	資格等
学校支援カウンセラー	心理	臨床心理士
教育相談専門員	福祉	社会福祉士
いのちと心サポート相談員	教育	教員OB
学校安全支援員	警察	警察OB
スクールロイヤー	法律	弁護士

⇒ 学校の要請でメンバーを派遣

⇒ 定例会を開催（事例検討、相談会）

⇒ 事例等を学校へフィードバック

例) いじめ被害児童の保護者からの要求

学校でのトラブルに係る話し合いにおける録音

② スクールソーシャルワーカーとの連携

- ・ 中学校区ごとに配置
- ・ 福祉分野の支援につなげる

◆ 推進体制・検証体制を整える取組

- ① 「加古川市いじめ防止基本方針」の改定（平成30年6月改定）
⇒ 市の方針に基づき各学校の方針を改定

- ② 「加古川市いじめ防止・対応マニュアル」の改定
(平成30年7月改定)

- ③ 改善プログラム取組状況の点検（各校の取組）
 - ・いじめ防止対策取組状況自己点検シート
 - ・要支援児童生徒（アセスの結果）への支援
 - ・教育相談後の支援

いじめ防止・対応マニュアル

加古川市
いじめ防止・対応マニュアル

～いじめの未然防止・早期発見・早期対応のために～

<改定版>

もくじ

はじめに	1
いじめについての基本的な対応	2
いじめの未然防止・早期発見の対応	6
いじめ対応の基本的な流れ	10
いじめ防止対策 詳細検証チェックポイント	16
いじめの早期発見のためのチェックポイント	16
いじめの対応フローチャート	21
関係機関連絡先一覧	22

平成30年7月

加古川市教育委員会

取組状況自己点検シート

平成30年度 学期
「いじめ防止対策改善プログラム」に基づいたいじめ防止対策取組状況自己点検シート

加古川市立 学校
校長

<回答方法>各項目の右の欄にカーソルを合わせると、選択できるようになっています。

※ 1～10の欄において、該当の項目が該当する場合は、該当の欄を選択してください。
(※：0：該当なし、1：ほぼ該当、2：やや該当、3：該当あり)

※ 1～10の欄において、該当の項目が該当する場合は、該当の欄を選択してください。
(※：0：該当なし、1：ほぼ該当、2：やや該当、3：該当あり)

※ 「2：やや該当」：「1：該当あり」と選択した場合、当該項目については、改善事項の記入をお願いします。

<本点検への取組について>

1 互いに認め合い、支え合い、助け合う絆づくりができていますか	
1-1 いじめが起きにくい環境、家庭、学校、児童会が築きあっていることが、いじめの未然防止につながっていること等、取組がはじまりました。	
1-2 学校での児童生活が豊かであることや校外でのいじめの防止に向けた取組がはじまっていること等、取組がはじまりました。	
1-3 児童生活が豊かになることや校外でのいじめの防止に向けた取組がはじまりました。	
1-4 児童生活が互いに支えあっていることや校外でのいじめの防止に向けた取組がはじまりました。	
1-5 自己課題等を解消する、取組がはじまりました。	
1-6 ビデオ、ポスターの活用等によりはじまりました。	
1-7 児童生活がいじめ防止の取組がはじまること等、取組がはじまりました。	
1-8 各の取組プロジェクトの活用等、全校での児童生活の取組として実施しました。	
1-9 エコ活動等の取組等を通じて実施しました。	
1-10 その他（ ）	
2 各個人物を尊重する豊かな生活ができていますか	
2-1 各個人物の尊重について、児童生活が豊かになること等、取組がはじまりました。	
2-2 いじめの防止に関する取組、「発見、調査、対応」への取組がはじまりました。	
2-3 その他（ ）	
3 全ての児童への働きかけができていますか	
3-1 授業の改善を通じて、児童生活が豊かになること等、いじめ防止への取組がはじまりました。	
3-2 家庭、地域への取組がはじまること等、いじめ防止への取組がはじまりました。	
3-3 児童生活が豊かになること等、取組がはじまりました。	
3-4 ホームページ等で取組がはじまること等、取組がはじまりました。	
3-5 その他（ ）	

● 5か年計画の1学期の取組状況の評価検証

委員からの助言・意見

- 子どもたちが、いじめの問題を自分たちの問題として、どのように取り組んでいくのか。主体的に取り組むことが「生きる力」につながっていく。
- 児童会・生徒会の取組では、いじめの問題についてきれいごとで話し合うのではなく、例えば「いじめはいけないと思っても『いじめを辞めよう』と勇気を出して発言しにくい」など、リアリティーをもって話し合うことが大切である。
- PDCAを回す際に、プランの段階で「うまくいけばこういうふうになる」という仮説を立て、それに達したのかどうか（効果）をチェックしていく必要がある。 など

● 改善プログラムの1学期の取組状況

◆ 各学校による「自己点検シート」まとめ

- ・各学校で実施したいじめ防止対策の取組状況を自己点検する。
- ・自己点検シートの10の項目を4段階評価する。

【小学校】

取組が充実	「互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりができたか」などの未然防止
取組に課題	「チーム学校による組織的な対応がなされているか」、「関係機関との連携を強化した取組がなされているか」

【中学校】

取組が充実	「チーム学校による組織的な対応がなされているか」、「関係機関との連携を強化した取組がなされているか」
取組に課題	「互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりができたか」などの未然防止

◆ 各学校が特に重点的に取り組んでいる内容

● 未然防止への取組について

1 互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくり

- ・ 「あいさつ運動」「インターネットの利用に関するルールづくり」（児童会・生徒会の主体的取組）
- ・ 「友だちの『いいところ』さがし」「異学年交流」など子ども同士のふれ合い（絆づくりの取組）

2 命や人権を尊重する豊かな心の育成

- ・ 特別支援学校との交流
- ・ 「人権参観日」「人権講演会」の効果的な実施時期の検討

3 家庭や地域への働きかけ

- ・ 4月の学級懇談会を参観授業後に実施
- ・ 保護者も参加したインターネットトラブル防止講座の開催

● 早期発見・早期対応への取組について

- ・子どもが本音を打ち明けやすくするためのアンケートや面談の検討
- ・担任以外による教育相談の実施を検討
- ・同学年の子どもを持つ保護者同士が悩みを共有する機会の設定
- ・個々の子どもを見守ることができるシステムの構築
- ・月ごとの生活相談（いじめ悩み相談票）の実施による情報交換及び学年を越えた対応



学校独自の特色ある取組を全学校へフィードバックし、より充実した取組につなげていく。

友だちのいいところさがし



子ども同士のつながりを深める



No.30



児童会長による全校生への呼びかけ
代表者ミーティングを受けて

児童会による全校生への呼びかけ
「ささいなことが深く傷つけることに・・・」



いじめ防止啓発集会

特色ある取組

- ・各学級で作成した「あいさつ標語」の全校生への紹介
- ・いじめ防止に関する掲示物を全教室に掲示
- ・「みんな遊び」の週1回実践による、全校生が仲良く楽しむ場の設定
- ・「心の花咲くノート」（友だちの思いやりある行動を見つけて記入する）の活用
- ・わいわい交流遠足（全校遠足・異学年交流活動）の実施
- ・毎月1度の「道徳デー」による、心シリーズを活用した保護者と子どもが話し合う場の設定

など

◆ 教育相談実施状況まとめ

● 教育相談実施報告

- ・ 小学校：14,502人（99.5%）、中学校：6,960人（98.5%）、全体：21,462人（99.1%）に実施
- ・ 対応が必要な児童生徒は752人うち、いじめに関する相談は217人



対応

学年等で情報共有し、管理職が中心となりケース会議を開催し、「チーム学校」として組織的に対応

● 教育相談の実施方法の工夫

- ・ 授業時間を短縮し相談時間を捻出
- ・ 相談時間を統一し違和感がないよう配慮
- ・ スクールカウンセラーによるカウンセリング研修の実施
- ・ 空き教室等を活用し、生徒と教師が1対1で向き合える場の設定

● 成果

- ・子ども同士の人間関係を知ることができた。
- ・児童生徒の理解や教師との信頼関係づくりに役立った。
- ・日頃から気になる子どもには関わる機会が多くあるが、普段から頑張っている子どもには関わる機会が少なくなってしまう。教育相談は、改めて全ての子どもに向き合う機会となった。
- ・普段、あまり気にかけていなかった子どもから悩みを聞くことができた。

● 課題

- ・教育相談の時間や場所の確保、アセス調査や他のアンケート調査との実施時期の兼ね合い等、課題が見られた。

対応

- ・教育相談マニュアル及び手引きの改正
- ・学校の実情に応じた実施期間の見直し
- ・時間や場所の確保については、各学校の工夫した実施方法を共有

◆ 「学校生活に関するアンケート（アセス）」 結果と学校の取組

● 対象者数

- ・ 小学校：9,623人（99.4%）、中学校：6,915人（98.1%）、全体：16,538人（99.0%）に実施

● 支援の必要な子どもへの具体的な関わり事例

- ・ ピアサポートとしてのグループ活動を取り入れながら、教師が意図して友だち同士の関わりを構築する。
- ・ 複数の教職員で、様々な角度から子どもを見て情報を共有する。
- ・ 心の相談アンケートの結果も踏まえて総合的に子どもの状態を見る。

● アセスにおける工夫・成果・課題

- アセスの結果を経年比較し、年度替わりの急激な落ち込みがある子どもをチェックし、いじめ対策委員会等で検討している。
- アセスの結果を会議で口頭確認するだけでなく、目標を明文化した個人カルテにより共有し取り組んでいる。
- 普段の学校生活の様子からは想像もできないアセスの結果を受けて、より積極的に当該子どもと関わっている。
- 生活満足度が低く、親子関係等家庭の問題に起因している場合の介入の仕方が課題である。
- ゲーム依存、ネット依存などの社会問題について、学校が子どもの生活環境にどのように立ち入るか、具体的なプログラム等を考えながら取り組む必要がある。

● 改善プログラムの1学期の取組状況の評価検証

委員からの助言・意見

- 子どもが相談しやすい教員が教育相談をすることで、担任が抱え込むという枠組みがなくなり、教職員の風通しが良くなることにつながる。
- 子どもが相談しやすい教職員に、いつでも相談できる体制づくりについても検討してはどうか。
- アセスの結果により、「予想していなかった子どもが・・・」というような普段の子どもと違う面に気づくことが大切である。
- 学校から出された教育相談の成果を、他の学校にも広めることが重要である。 など

委員長のコメント

- 教育委員会も各学校も、本当に前向きに様々な取組をしていただいている。PDCAを回していく中で、いじめ防止の取組の効果が「らせん状」に上がっていくように、我々評価検証委員会も一生懸命取り組んでいきます。

VIII 次年度以降の進め方

● 開催スケジュール

6月 第1回評価検証委員会

- ・ 3学期の取組状況の評価検証
- ・ 新年度の重点取組の説明

9月 第2回評価検証委員会

- ・ 1学期の取組状況の評価検証

11月 第3回評価検証委員会

- ・ 学校訪問（数校）

2月 第4回評価検証委員会

- ・ 2学期の取組状況の評価検証
- ・ 次年度の対策改善案の検討

IX 参考資料

- 【資料1】 いじめ防止対策改善基本5か年計画
- 【資料2】 いじめ防止対策改善プログラム
- 【資料3】 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会規則
- 【資料4】 「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」の取組状況(平成30年度1学期分)
- 【資料5】 児童会・生徒会代表者ミーティングからの報告
- 【資料6】 子どものSOS発見啓発チラシ
- 【資料7】 子どものSOS発見チェックリスト
- 【資料8】 いじめ防止啓発チラシ
- 【資料9】 学校生活に関するアンケート
- 【資料10】 心の相談アンケート
- 【資料11】 加古川市いじめ防止基本方針
- 【資料12】 加古川市いじめ防止・対応マニュアル
- 【資料13】 「いじめ防止対策改善プログラム」に基づくいじめ防止対策取組状況自己点検シート
- 【資料14】 「いじめ防止対策改善プログラム」に基づくいじめ防止対策取組状況自己点検シート
まとめ(平成30年度1学期分)
- 【資料15】 「いじめ防止対策改善プログラム」に基づくいじめ防止対策取組状況自己点検シート
特に重点的に取り組んでいる内容(学校の実情に合わせた特色ある取組)
- 【資料16】 教育相談実施状況まとめ(平成30年度1学期分)
- 【資料17】 「学校生活に関するアンケート(アセス)」結果と学校の取組について(報告)

いじめ防止対策改善基本5か年計画に基づく 命を大切にする教育の推進について

青少年育成課